

# 防災ワークショップ

## 2020

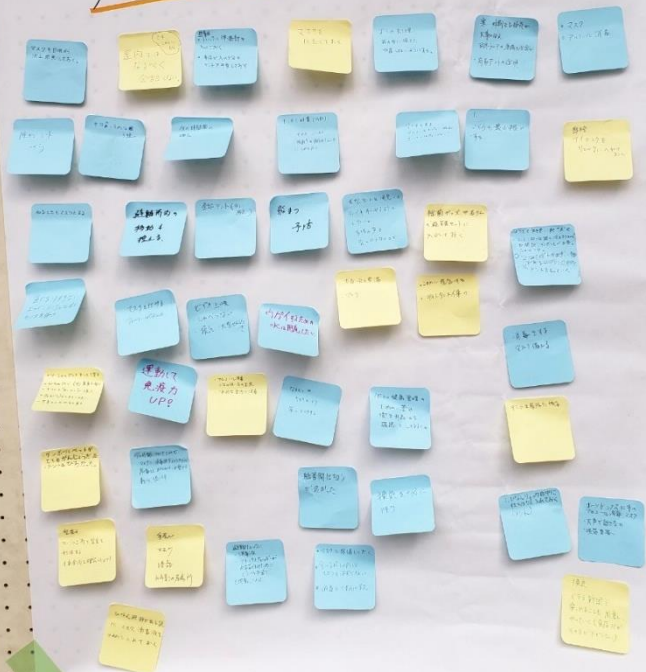
日付：令和2年10月24日（土）

会場：愛宕小学校 体育館

主催：青少年対策上柚木地区委員会

令和二年度  
青少年対策上柚木地区委員会  
防災ワークショップ  
十月二十四日 土曜日  
午前十時より十二時まで

広げないための工夫



# 防災ワークショップ2020 報告書

実施日 : 令和2年10月24日(土) 会場: 愛宕小学校 体育館  
テーマ : コロナ禍でも災害は来る。どんな避難所がいい?  
形態 : 個別体験型ワークショップ  
主催 : 青少年対策上柚木地区委員会  
協力 : 東京都立大学 災害復興・都市防災研究室 市古教授 市古ゼミの皆さま  
時間 : 給水訓練見学 9:30~10:00 (八王子市役所水道課の方々による実施)

愛宕小(低学年)	10:00~10:30
(高学年)	10:30~11:00
上柚木小	11:00~11:30
上柚木中・地域の方	11:30~12:00

【参加者数(受付数)】  
高校生以上 102名  
中学生以下 23名  
計 125名

## ～はじめに コロナ禍での感染拡大防止対策について～

今年度の防災ワークショップはコロナ禍であったため、以下の感染症対策を取りながら開催をした

### <事前対策>

- ・運営スタッフ、当日のお手伝いスタッフ(青少対防災実行委員、都立大関係者、愛宕小保護者、上柚木小保護者、上柚木中保護者)全員の2週間前からの健康観察(発熱の有無、体調の変化の有無等)を行う
- ・当日、健康観察表の提出。体調不良のあった者は参加不可とする

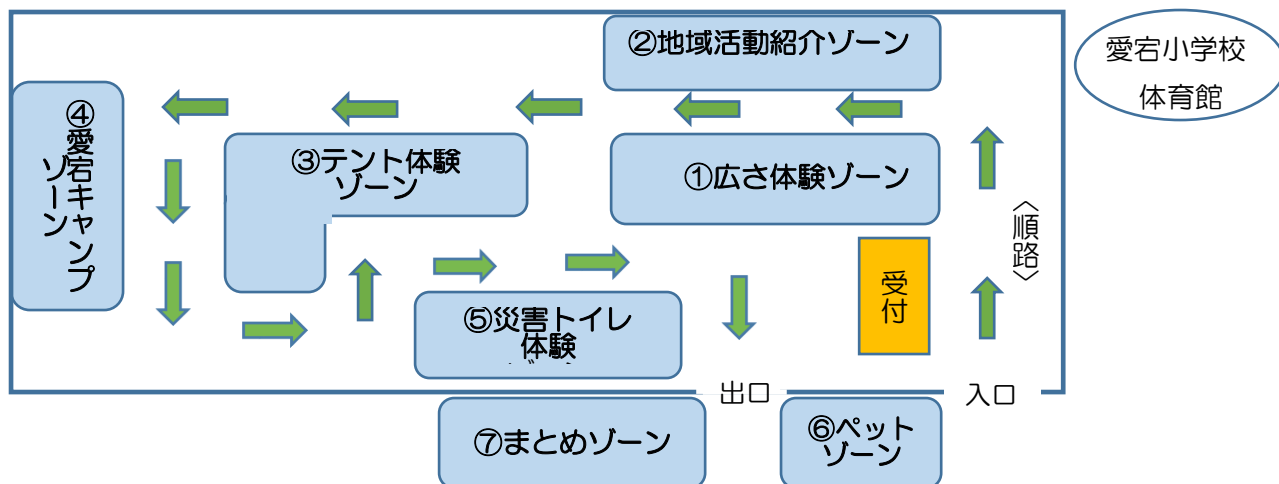
### <当日対策>

- ・来場時間の分散(所属により来場時間を30分ごとに区切る)
- ・『避難者登録書』の参加者全員提出。万が一感染者が発生した場合に感染拡大防止に使用する目的
- ・来場時間が分かるように、『避難者登録書』に時間帯ごとに色を変えて色ペンで印をつける
- ・『避難者登録書』『ポストイット』を書く鉛筆は、そのまま使用者に持ち帰ってもらう
- ・スタッフ全員マスク着用。来場者のマスクの着用をお願い(チラシ、一斉メールでのお願い)
- ・入場時、非接触型体温計による検温(37.5分以上の体温の場合、入場をお断りする)
- ・入場時、アルコールによる手指消毒
- ・会場は常時換気(出入り口、窓、キャットウォークの窓を全て開ける)
- ・会場は入口から出口まで一方通行とし、来場者同士のソーシャルディスタンスを保つよう注意喚起の掲示
- ・広さ体験ゾーンなど、触ったり座ったりする箇所にはアルコールを置き、都度スタッフが消毒をする

### <内容>

#### ◆愛宕小学校の体育館を仮定の避難所に見立てた【周回型の個別体験型ワークショップ】

➡7つのゾーンに分かれており、順路に従って一方通行で見学、体験する



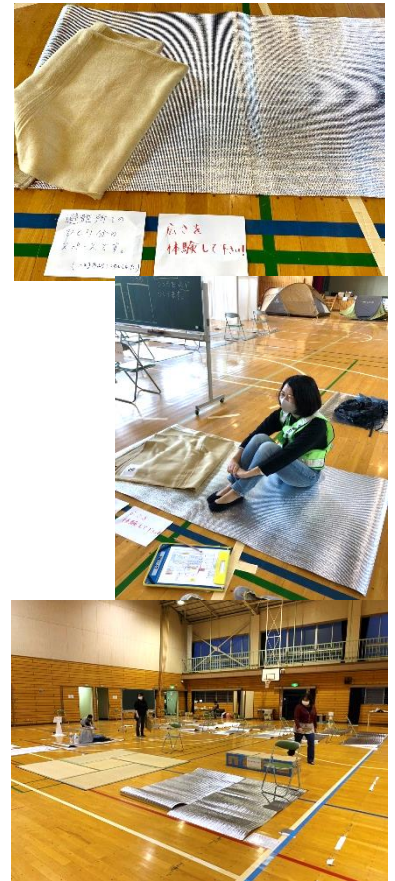


# 1) 広さ体験ゾーン


## ◆避難所での生活の広さを実際に体験できるゾーン

4つの広さの設定があり、実際の広さを体感できる


- ① 1人あたり1㎡ (一時避難場所)
- ② 1人あたり1.65㎡ (避難所の銀マットの広さ)
- ③ 4人で4畳半 (4人で避難した時の広さ)
- ④ 1人で4㎡ (ソーシャルディスタンスの避難所)



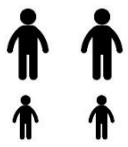
**1人あたり1㎡** 一時避難場所  
地震や火災が発生した時に様子を見るため、とりあえず避難する場所。公立の小中学校、大学などが指定されています。



**1人あたり1.65㎡** 避難所での1人あたりの面積  
1人あたり畳1畳(1.65㎡)として、その建物の面積より避難所の収容可能人数を算出します。




**4人で4畳半** 家族4人で避難した場合  
家族4人で避難した場合、4畳半の部屋の広さで家族で生活をする…と想像すると、イメージが湧きやすいのではないですか



**1人あたり4㎡** 感染しない避難所  
新型コロナウイルス感染症のような感染症が流行している中で感染しない避難所にする場合、1人あたり4㎡の広さが必要です。

**ソーシャル  
ディスタンス**



## ◆避難所に持ち込む生活用品の展示

避難するときに持っていく荷物はどうする?何が必要?あると便利なものは?  
～運営スタッフが『うちの避難用品』を公開し、展示をしました～

### 【避難所の生活用品の展示】



<避難所の生活用品を見ながら…>

『こういうものがあった方が良いね』

『うちも用意しておこうかな』

『子供用のおもちゃも必要なんだね』

<来場者から色々な感想や意見が出ていました>



室内履きを  
忘れた方用に

【新聞紙スリッパの作り方も紹介しました】



## 2) 地域活動紹介ゾーン

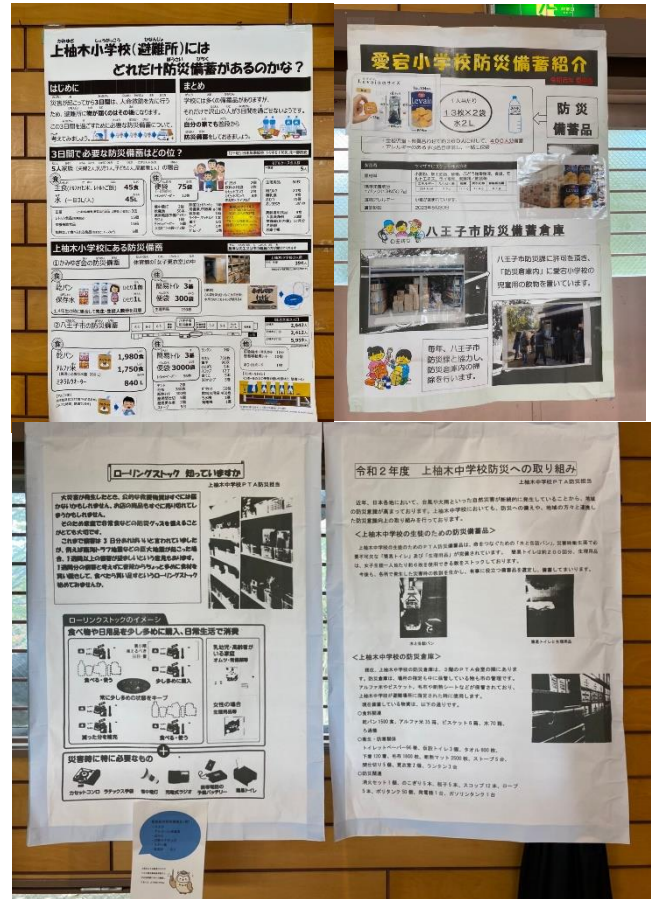
### ❖地域の防災活動についてのポスターセッション

#### 【掲示団体】

- 学園一番街
- 上柚木小学校
- 上柚木中学校
- 愛宕小学校

#### 【内容】

各団体の防災備蓄品についての紹介やローリングストックの紹介の掲示。  
自分の地域にはどんな備蓄がどれくらいあるか、どんな取り組みがあるかを知ることができる展示。



## 3) テント体験ゾーン

### ❖テントで避難するってどんな感じ?

赤ちゃんテントを知ろう  
簡易テントと屋外用大型テント  
紙管間仕切りの紹介

#### 【展示内容】

- ① 段ボールベッドと簡易ベッド
- ② 赤ちゃんテント
- ③ 簡易型テント（ポップアップテント）
- ④ キャンプ用大型テント
- ⑤ 紙管間仕切り（都立大提供）

それぞれを見て、体験してもらい、様々な避難の形について考える展示。

【赤ちゃんテント】

【段ボールベッドと簡易ベッド】



【簡易テントと大型テント】

【紙管間仕切り】



## 4) 愛宕キャンプゾーン

❖愛宕小学校で毎年7月に行われる  
愛宕キャンプの紹介ゾーン  
(愛宕キャンプ実行委員会/学校運営協議会主催)

～愛宕キャンプとは～

今年で9回目の愛宕キャンプ。体育館に実際に泊まって、避難所を体験する催し。日中はグループ毎に交流しながらゲームをしたり防災食を作って食べたりする。地域の人々と交流を楽しみながら、親子で防災について学ぶことができる。

令和2年度はコロナ禍のため、オンラインで（ZOOM）開催！オンラインで交流ゲームや防災クイズを行った。昼食に各自作った避難所ご飯を紹介するコーナーもあった。オンラインでも繋がる事ができる！そんな実感が持てるような試みとなった。

【あたごCamp紹介ポスター】



【缶詰など、食料備蓄品の紹介】

## 5) 災害トイレ体験ゾーン（都立大 市古ゼミ）

❖災害トイレの実験を体験できるゾーン

＜給水実験＞

3種類の素材の給水力、大人1回分の尿量の水を含ませるとどの位かさばるか？を体験

- ① 新聞紙
- ② ペットシート
- ③ 防災用トイレ（凝固剤）

＜臭い実験＞

カレー粉を溶かした水を使って、3種類の袋の防臭効果の実験。どれが臭わない？を体験

- ① ポリエチレン
- ② ポリプロピレン（パン袋）
- ③ 防臭袋（高密度ポリエチレン）





## 6) ペットゾーン

【ペットのための備えについてとケージの展示】

### ◆ペットとの避難について考えるゾーン

＜ペットを飼っている家庭が被災した時＞

- どんな備えをしておけば良いだろうか？
- 避難所につれてくる場合には、どんな避難の形になるだろうか？

#### 【展示】

- ペット用ケージ
- 『ペットと一緒に避難したいときは』ポスター



#### 🗨️ ペットと一緒に避難したいときは

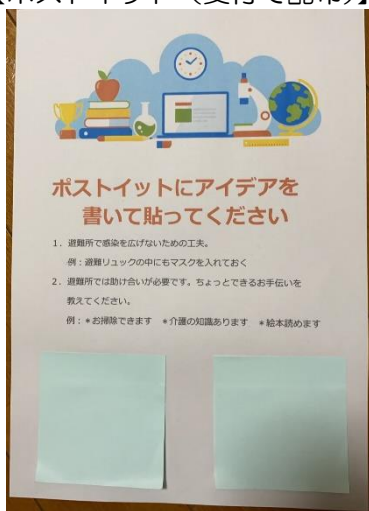


◎八王子市では、『避難住民への危険防止等の観点から、人と動物の生活空間を完全に分離することが望ましい』としています。

- 動物を避難部屋に入れないでください
- 動物は決められた場所で、ケージ（オリ）に入れるか、支柱になぎとめるかして飼育しましょう

## 7) まとめゾーン

【ポストイット（受付で配布）】



### ◆来場者の皆さんのアイデアを集めるゾーン

＜ポストイットにアイデアを書いて貼ってもらう＞

受付で来場者に配布したポストイットに、2種類のアイデアを書いてもらい、ボードに貼ってもらう

- ① 避難所で感染を広げないための工夫  
例：避難リュックの中にもマスクを入れておく
- ② 避難所では助け合いが必要です。  
ちょっと出来るお手伝いを教えてください  
例：お掃除できます、介護の知識あります、絵本読めます

【様々なアイデアが貼られていました】

